

骨太と誠実

学部の特徴を生かしたキャリア教育と、全学的就職支援の連携強化によって
骨太で誠実なグローバル人材(拓殖人材)の育成を目指します。

プロから学べるチャンスを用意

業界研究や模擬面接、就職合宿セミナーなどでは、
企業のみなさまのご協力により、実社会への理解を深めています。

求人受付について

日頃より本学学生の就職活動、採用におきまして多くのご協力をいただき、
厚く御礼申し上げます。本学では企業・団体様方から求人を随時受け付けており、
学内のシステムにて学生に公開しています。下記いずれかの方法で求人情報を
ご登録くださいますよう、お願い申し上げます。

① 求人受付 NAVI

本学では、求人受付NAVIを導入し、学生に向けた求人情報をリアルタイムに
公開しています。本学ホームページ内「企業採用ご担当のみなさまへ」から
求人NAVIへログインの上、ご登録ください。

企業採用ご担当のみなさまへ

<https://www.takushoku-u.ac.jp/enterprise/adopt.html>

求人NAVI

<https://www.kyujin-navi.com/uketsuke/>

② 郵送

郵送、E-mailでお送りいただく場合、「青少年の雇用の促進等に関する法律」に
基づき、「自己申告書」と「青少年雇用情報シート」も併せてお願いいたします。

③ E-mail

※インターンシップのご案内につきましては、郵送・E-mailにてお送りください。

本学卒業生の 在職状況について

貴社に本学卒業生がおりましたらお知らせください。
在学生の就職活動における一助とさせていただきますとご協力のほどお願い申し上げます。

本学卒業生在籍者名簿のフォーマットは以下の手順でダウンロードいただけます。

本学ホームページ内「企業の方」→「求人のお問い合わせ」→「採用ご担当者の皆様」→「本学卒業生の在職状況お知らせのお願い」
貴社で作成された卒業生名簿がございましたら、そちらをご提供いただけますようお願い申し上げます。

郵送またはE-mailにてお送りください。

拓殖大学 企業の方



<https://www.takushoku-u.ac.jp/enterprise/>

連絡先

文京キャンパス 商学部・政経学部

〒112-8585 東京都文京区小日向3-4-14 就職課：C館2階

TEL 03-3947-7205 FAX 03-3947-9581 E-mail ▶ shushoku@ofc.takushoku-u.ac.jp

【交通】東京メトロ丸の内線「茗荷谷駅」下車 徒歩3分 ※駐車場がないためお車での越しはご遠慮ください。

八王子国際キャンパス 外国語学部・国際学部・工学部

〒193-0985 東京都八王子市館町815-1 八王子就職課：A館1階

TEL 042-665-1467 FAX 042-665-1543 E-mail ▶ 8shushoku@ofc.takushoku-u.ac.jp

【交通】JR中央線・京王線「高尾駅」南口下車 京王バス「急行 拓殖大学」ゆき 直行10分



求人のご案内 2026



拓殖大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

建学の理念

積極進取の気概とあらゆる民族から敬慕されるに値する 教養と品格を具えた有為な人材の育成

拓殖大学は明治33（西暦1900）年に台湾協会学校として、桂太郎公爵によって設立され、この建学の精神のもと、多くの卒業生が世界の各地で活躍する“国際大学”のパイオニアとして大きな足跡を残してきました。政治・経済・文化におけるあらゆる活動が、国や地域にとらわれない現代において、異なる文化や生活様式の人々と共に生きる視点を持ったグローバルな人材が必要とされています。本学ではこれからも、国内はもちろんのこと、アジアへ世界へと羽ばたき、社会に貢献できる「真の国際人」の育成に努めます。



学長 鈴木 昭一

課題の発見と解決に向けて積極的に他者と協働して取り組むことのできる “拓殖人材”を育てています。

拓殖大学は1900（明治33）年の創立以来、グローバル人材の育成を建学の理念に掲げ、何事にも積極的にチャレンジし、タフな人間力を身につけた『拓殖人材』の育成を目指しています。
国の内外を問わず「現場」で力を発揮できる人材の育成を教育目標として、国内外で活躍する多くの卒業生を輩出してきました。アジアはもとより、南米、ヨーロッパを目指し、地域の情報と言葉を手に、世界中に飛び立っていった先人たちが数多くいます。
本学では、2030年に向けた中長期計画『教育ルネサンス

2030』を策定し、これまでの教育実績を発展的に継承しつつ「国際性」「専門性」「人間性」の3つの素養を備えた『拓殖人材』を社会に向けて輩出していまいます。
豊かな専門性を有し、多様な価値観を受容しうる寛容性と国際的視野を有し、社会課題の発見と解決に向けて他者と協働して取り組むことのできる人間性豊かな人材です。
拓殖人材は、必ずや貴社の期待に応え、力となり、大きな貢献をなすものと確信しております。ご採用に関しましては、格段のご配慮をお願い申し上げます。

歴代総長

初代校長	桂 太郎	かつら たろう	明治33年—大正元年
第2代学長	小松原英太郎	こまつばら えいたろう	大正元年—大正8年
第3代学長	後藤 新平	ごとう しんぺい	大正8年—昭和4年
第4代学長	永田 秀次郎	ながた ひでじろう	昭和4年—昭和18年
第5代学長	宇垣 一成	うがき かずしげ	昭和19年—昭和20年
第6代学長	下村 宏	しもむら ひろし	昭和20年—昭和21年
第7代総長	高垣 寅次郎	たかがき とらじろう	昭和21年—昭和27年
第8代総長	鈴木 憲久	すずきの のりひさ	昭和27年—昭和28年
第9代総長	八田 嘉明	はった よしあき	昭和28年—昭和29年
第10代総長	矢部 貞治	やべていじ	昭和30年—昭和39年
第11代総長	安東 義良	あんどう よしろう	昭和39年—昭和42年
第12代総長	中曽根 康弘	なかそね やすひろ	昭和42年—昭和46年
第13代総長	豊田 悌助	とよだ ていすけ	昭和46年—昭和53年
第14代総長	高瀬 侍郎	たかせ じろう	昭和54年—平成3年
第15代総長	小村 康一	こむら こういち	平成3年—平成7年
第16代総長	小田村 四郎	おだむら しろう	平成7年—平成15年
第17代総長	藤渡 辰信	ふじと たつふ	平成15年—平成23年
第18代総長	渡辺 利夫	わたなべ としお	平成23年—平成27年
第19代総長	森本 敏	もりもと さとし	平成28年—令和3年



歴代学監

初代学監	松崎 蔵之助	まつざき くらすけ	明治34年—大正3年
第2代学監	新渡戸 稲造	にとべいなぞう	大正6年—大正11年
第3代学監	松岡 均平	まつおか きんぺい	大正11年—大正13年
第4代学監	小川 郷太郎	おがわ ごうたろう	大正13年—昭和3年
第5代学監	永田 秀次郎	ながた ひでじろう	昭和3年—昭和4年
第6代学監	中村 進午	なかむら しんご	昭和4年—昭和14年
第7代学監	宮原 民平	みやはら みんぺい	昭和15年—昭和19年
第8代学監	高垣 寅次郎	たかがき とらじろう	昭和19年—昭和21年

◀恩賜記念館 （八王子国際キャンパス）

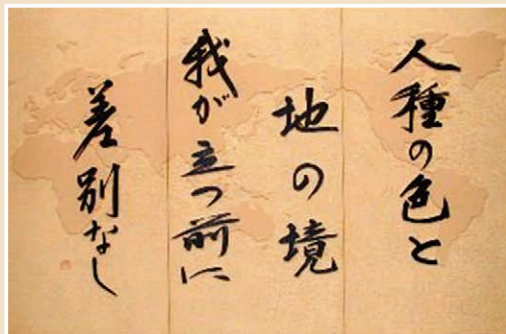
創立百周年記念建物として、かつて文京キャンパスに存在した恩賜記念講堂（写真右下・昭和16年12月卒業アルバムより）を復元したものです。



▲タペストリー

この図柄は、本学が受け継いできた「海外雄飛」を具現化したもので、建学の精神に基づいたデザインとなっています。

校歌三番より



本学第7代学監・宮原民平氏作詞による校歌では、三番の一節で「人種の色と地の境 我が立つ前に差別なし」と、大学を超えた世界普遍の理念を謳い込み、最終節で「使命は崇し青年の力あふるる海の外」と、本学学生が目指すべき方向を明確に示しています。

“創立以来の国際大学” 礎を築いた 先人達。



明治維新後、日本の近代化を
リードした偉人

桂 太郎（明治33年—大正元年）

拓殖大学創立者・初代校長

山口県出身。台湾総督、陸軍大臣、内務大臣、外務大臣、大蔵大臣、内大臣、癌研究所初代総裁、台湾協会会頭、内閣総理大臣（3度）等を歴任。1900年拓殖大学の前身・台湾協会学校の初代校長となる。翌1901年には第1次桂内閣を発足させた。



関東大震災から東京を
復興させたリーダー

後藤 新平（大正8年—昭和4年）

拓殖大学第3代学長

板垣退助との出会いをきっかけに医師から内務省へ。卓越した政治手腕を買われ、台湾総督府民政長官、南満州鉄道総裁を経て、通信・内務・外務各大臣、東京市長等を歴任。東京放送局（現NHK）初代総裁。帝都復興院総裁として関東大震災直後の東京復興、また日ソ国交回復などに尽力した。



国際連盟でも活躍した、
日本が誇る国際人

新渡戸 稲造（大正6年—大正11年）

拓殖大学第2代学監・教授

思想家・教育者であり、農業経済学・農学の研究も行っていた。旧五千円札の肖像となったことでも知られる。国際連盟事務次長、太平洋問題調査会理事長として、国際理解と世界平和に尽力した。「太平洋の橋とならん」の言葉はあまりに有名。著書『武士道』は世界各国語に翻訳されている。

拓大生のいま

伝統の国際交流、活発なゼミナール、盛んな部活動・サークル、
社会人基礎力育成グランプリや学生チャレンジ企画では、
学生たちが主体性、問題解決能力を伸ばして、実践力ある人材に育っています。

オレンジプロジェクト



テーマの異なる5つのチームがそれぞれ教職員・学生と一丸となり、まじめに楽しく活動しながら
取り組む“プロジェクト”。持続可能な世界を視野に、メンバーひとりひとりが成長を続け、
タフな人間力を身につけたグローバル人材(=拓殖人材)を育成します。



スポーツオープンキャンパス

T-Lash

学生支援活動をテーマにグローバルな活動や実践を重視した体験機会、卒業後の人生にも活かせる学びやスキル、学生時代にしかつけない思い出、仲間づくりを支援しています。



異文化交流ラウンジ

NextStep

社会で活躍する上で求められる提案力や周囲を巻き込み行動する力を学生のうちから養い、将来のキャリア形成に向けたスキルアップを支援しています。



オレンジフェスタ

LinkBunkyo

防災教育センターと連携し、学生の防災意識の向上、地域共存型キャンパスにするための活動を行っています。



防災体験教室

T-GIRL

学生の学生生活満足度アップを目的に、女子ならではの視点やアイデアを活かしたイベントの開催、キャンパスづくり等の活動に取り組んでいます。



食堂コラボ

CONTIGO

防災の推進など、持続可能なまちづくりをテーマに八王子国際キャンパス近隣地域と密につながって八王子市の課題解決に取り組んでいます。



じゃがいも収穫体験



5つのグループが活動中!

学生チャレンジ企画



社会や地域貢献、国際交流、ボランティア、大学の活性化などにつながる**学生の頑張る“チカラ”**を大学が応援する制度。
学生たちは、問題解決力、コミュニケーション力、交渉力、予算管理能力の向上を目的とし、目標に向かって企画を実行します。



テーマ:カードゲームを作成し楽しく環境問題を学ぶ

テーマ:廃棄されるフェルトを有効活用しモンゴルの遊牧民に仕事を

テーマ:ベトナムの高校生たちと日本の架け橋に

テーマ:竹を用いた工芸品を通じて竹製品のメリットや認知度を高めたい

桂太郎塾



現代版「松下村塾」を理想に掲げてスタートした特別講座。当代一流の講師による講義、学部・学年・国籍を超えた塾生同士で行う集団討論や論文発表を通じて切磋琢磨し合い、柔軟性、協調性、バランス感覚をもった“未来のリーダー”を育成しています。

麗澤会 海外派遣団



課外活動を総括する全学的組織を“麗澤会”と称し、学長・教職員・学生が三位一体となって、本学の発展に向け活動しています。1972年より、毎年夏季休暇等を利用して行う海外親善派遣(2024年度はインドネシアへ派遣)は、学生時代に海外の諸事情に触れ、異文化への理解を深めて、国際親善に努めることを目的としています。

社会人基礎力育成グランプリ



ゼミナールや研究室等での課題解決型学習・実習において、学生たちがどのような課題に取り組む、どれだけ社会人基礎力が伸びたか、プレゼンテーションを通じて競い合う全国大会。毎年多数のチームがグランプリを目指しチャレンジしています。

ゼミナール・研究室



ゼミナールや研究室では、社会情勢や経営管理・組織マネジメントや回路設計・ハードウェア・生体情報などのテーマを自ら研究し、より高い専門性を追求しています。学生と教員でディスカッションを多く取り入れ、自己主張しやすい少人数の組織で探求しています。インプットに留まらずアウトプットできる即戦力な人材を育成します。

麗澤会 体育局



30団体を超える体育局は、世界に通用する選手が数多く、オリンピック選手も輩出しています。各団体は社会人に最も重要な人間力と共に、競技で培われた協調性・積極性が強みです。目標に真っ直ぐに突き進む姿勢に加え、PDCAサイクルが当たり前になり身についていることが何よりも努力を惜しまない希望をもった学生の証となっています。

海外留学



本学では、短期・長期・交換留学など多くの海外留学プログラムが設けられています。条件として成績や面接選考・語学検定試験のスコアも求められ、狭き門を目指します。希望の就職先に就くことを目標に留学にチャレンジしている学生も多くいます。

麗澤会 文化局 愛好会・サークル・その他



雄弁会では、今年「東京大学五月祭記念弁論大会」に出場し、本学は優勝と聴衆審査最優秀賞のダブル受賞を獲得しました。また各団体では、数多くのイベントを学生が組織としてマネジメントし活動しています。0から1を生み出すことや、1から10へ発展させることも経験して、今後の未来に繋がる活動をしています。

拓殖大学学生三大祭典

紅陵祭(大学祭)



50を超える団体が展示・模擬店・ライブを披露します。実行委員会を中心として各団体が想像力を豊かにし、相手が如何に楽しむ事が出来るかを常に考えられる学生が多く在籍しています。

国際フェスティバル



本学の国際色豊かな面を祭に反映させた教室展示、演奏、ダンス、スポーツ、各国の伝統料理の模擬店などが出店します。学生の課外活動への熱を感じられるイベントとなっています。

語劇祭



海外の言語や文化を学ばせ・サークルが、それぞれの専門とする言語で演劇をします。1922年から続く最も歴史のある伝統行事であり、85回目の開催となった2023年は、英語や中国語、インドネシア語などの演劇が発表されました。